

(様式1)



山口市

## 報道資料

令和 5年 8月 3日

1 件 名	～やまぐち子ども未来型学習プロジェクト～ 「山口市教育研究会美術部会 in YCAM」の開催について
2 日 時	令和5年8月10日(木) 14:00～16:30
3 場 所	山口情報芸術センター内 Studio B (山口市中園町7-7)
4 内 容	<p>本市教育委員会と山口情報芸術センター[YCAM]が連携して実施する先進教育プロジェクト「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト(※1)」の一環として、教員向け講座「山口市教育研究会美術部会 in YCAM(※2)」を上記日程で開催します。</p> <p>学校におけるICT教育の取組が本格化する中、アニメーション制作アプリ「フレットアニメ」の活用方法について、本市の美術担当教員が集まって研修を行います。</p> <p>(※1) やまぐち子ども未来型学習プロジェクト 教育委員会とYCAMが連携し、山口の子どもたちに、ICT機器の操作方法や情報(メディア)リテラシーの習得を働きかけるとともに、情報を分かりやすく発信・伝達する能力やプログラミング的思考、情報モラルなどの情報活用能力を育み、これからの山口を担う人材の育成をめざします。</p> <p>(※2) 山口市教育研究会美術部会 in YCAM ①目的: 1人1台端末等のICT機器を活用した授業における指導のあり方を研究するとともに、児童・生徒の情報活用能力の育成を担う教員の指導力向上を図る。 ②内容: 造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術と豊かに関わる資質・能力を高めることをめざし、アニメーション制作アプリ「フレットアニメ」をより効果的に活用した授業について、演習や協議を行う。</p> <p>③講師プロフィール □萩原 健一 (はぎはら けんいち) 1978年生まれ。映像作家/研究者。秋田公立美術大学准教授。国際情報科学芸術アカデミー[IAMAS] DSPコース卒業。写真表現を軸に、映像メディアを用いて作品制作をおこなう。2005年文化庁新進芸術家国内研修として山口情報芸術センター[YCAM]滞在後、2007年、情報科学芸術大学院大学[IAMAS]修了。企業やプログラマーと協働したメディア教育教材の開発を研究の軸としている。主な展覧会に、scopic measure#6(山口情報芸術センター, 2007)、Media/Art Kitchen(東南アジア, 2013)など。</p>





山口市

□蛭間 友里恵 (ひるま ゆりえ)

山口情報芸術センター[YCAM]スタッフ。2019年秋田公立美術大学大学院 複合芸術研究科卒業。2020年2月よりYCAMスタッフに広報として着任。その後、YCAMで生まれた芸術表現やその知見の社会応用活動をすすめる社会連携担当。2021年は宮野中学校とのコラボレーションにより、文化祭で Chromebook を活用したアニメーション壁画の企画を実施。

◆報道関係者の皆様へのお願い

・取材を希望される場合は、8月7日(月)までに学校教育課(馬屋原)まで御連絡ください。

5 出席者 山口市立小・中学校教員(約15名)、YCAMスタッフ、ファブラボ山口スタッフ等

6 問い合わせ 山口市教育委員会事務局 学校教育課 TEL (083) 934-2863